

高知県中学校ソフトテニス

確認事項

1. 進行について

進行表をみて、自分の対戦（試合）がいつなのか確認する。

右の表の見方

- 1 コートの 1 試合目にトーナメント表の 2 番と 3 番が対戦。
- 2 試合目が 4 番と 5 番。
- 4 ~ 7 とは、その番号の中の勝者同士が対戦するという意味。

棄権（参加しない）するチームもあるので、放送や張り出してあるトーナメント表も確認しておく。

自分の試合の前の試合になったら、そのコート内のベンチに座り、待機する。

球拾いをして、試合進行に協力する。

対戦がはじまらない場合、放送で呼び出しをするが、3回呼ばれたら棄権とみなす場合がある。

前の試合が終わったらコートに整列して、すぐに乱打等試合の準備に入る。

ジャッジペーパーが届くまでに終わらせる。

試合を開始する。

機敏な行動に心がける。

相手を不快（いやな気持ち）にする言動をしない。

試合が終わる。

勝者

審判からジャッジペーパーを受け取り、本部まで持っていく。自分の種別に注意すること。

本部で次の対戦のジャッジペーパーを受け取り、1 名は今試合をしていたコートにすぐに持っていく。もう 1 名は張り出してあるトーナメントに自分の勝ち上がりを記入する。

次の対戦を確認する。

顧問や監督の先生への報告は後回し。試合進行に関わる部分を最優先にすること。

敗者

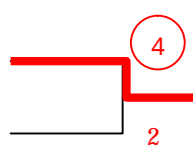
勝者がジャッジペーパーを持って来るので、コートで待機する。

ジャッジペーパーが届きしだい、試合を開始する。

対戦相手がきていない場合、1 名が本部までそのことを知らせに来る。

顧問や監督の先生への報告は後回し。試合進行に関わる部分を最優先にすること。

トーナメント表 横の番号	(進行表の例)
	1 コート
	2 3
	4 5
	(中略)
	4 ~ 7



2. 審判の要領

正審

カウンターを表示するとともに、コールを行う。大きな声でコールを行うこと。

両端の大きな数は各ゲーム中のポイントを表し、真中の小さな数字は得ゲーム数を表す。(図参照)

ポイントを得るごとにポイントしたチーム（サイド）のカードを 1 枚めくる。

3 オール（デュース）になった場合は、両方に D のカードを表示する。

アドバンテージの際は、そのチーム（サイド）に A のカードを表示する。

再びデュースとなった場合は、 の操作を繰り返す。

チェンジサイズ・サービスになったら得点を副審に見せる。

カウンターは両方のスタンドから見やすいようにおくこと。

副審は従来のジャッジとともに簡易式ジャッジペーパーを記入する。

チェンジサイズのときに、正審のカウンターを確認しジャッジペーパーに記入する。

そのゲームを取ったペアの方の得点を丸囲みの数字で記入し、取られたペアの方は得点を数字のみ記入する。ジューズは A と D で記入する。

スコア-の欄も同様とする。



ダブルス・シングルス採点票

No. _____

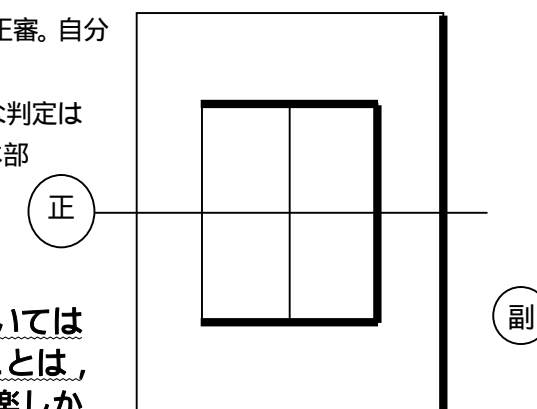
種別	第	コート	正審	副審
第	回戦	開始	分	線審
	終了	分		線審
No.	所属	(スコア)	No.	所属
↑	A	4 · 1	↑	A
↓	B		↓	B
サイド			サイド	
SR	4	- -	SR	1
SR	2	- -	SR	4
SR	A	- -	SR	D
SR		- -	SR	
SR		- -	SR	
SR		- -	SR	
SR		- (F) -	SR	
勝者	Y Y R	タイム	タイム	勝者 Y Y R
	A 5 · 5	A 5 · 5	B 5 · 5	
	B 5 · 5	B 5 · 5		
勝者番号	No.	進行	点検	記録

補足

審判の判定区分

太線の部分のみ副審が判定する。それ以外はすべて正審。自分の判定区分以外のジャッジはしないこと。

審判は責任と自信を持って判定すること。優柔不断な判定はもめる原因となります。困った場合は、はやめに本部に報告すること。



* 各学校で審判の要領や試合進行の方法については指導されていると思いますが、わからないことは、早めにわかる先生に質問して、みんなが「楽しかった」と思える大会にしましょう。